

開講学科	システム生体工学科		前橋工科大学 シラバス			
科目名	ゼミナール I	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		3年次	必修	16103401		
担当教員	学科全教員	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	前期	木曜日	2時限	
授業の教育目的・目標	技術や研究に関する文献を自分で調べることを経験することで、ゼミナール II に役立てる。					
学科の学習・教育目標との関係	研究室配属や社会へ出る前に多角的な視点を養う。					
キーワード	要素技術、最新トピックス					
授業の概要	各教員が後期のゼミナール II の研究室選択の参考になるよう各教員が研究内容やトピックスを紹介し、学生が調査すべきテーマの概略を説明する。同じテーマを調査することがないように各教員は複数のテーマを提示する。そのテーマをさらに調査し、発表する。学生が担当するテーマは第7回講義でランダムに決める。学科全教員が毎回指導に当たる。					
授業の計画	第1回：	ガイダンス				
	第2回：	教員2名による研究内容や関連領域の最近のトピックスの紹介				
	第3回：	教員2名による研究内容や関連領域の最近のトピックスの紹介				
	第4回：	教員2名による研究内容や関連領域の最近のトピックスの紹介				
	第5回：	教員2名による研究内容や関連領域の最近のトピックスの紹介				
	第6回：	教員2名による研究内容や関連領域の最近のトピックスの紹介				
	第7回：	テーマの決定と調査開始				
	第8回：	担当するテーマの調査				
	第9回：	担当するテーマの調査				
	第10回：	6～8名が発表・質疑応答（教員全員で評価シートにもとづいて評価する）				
	第11回：	6～8名が発表・質疑応答（教員全員で評価シートにもとづいて評価する）				
	第12回：	6～8名が発表・質疑応答（教員全員で評価シートにもとづいて評価する）				
	第13回：	6～8名が発表・質疑応答（教員全員で評価シートにもとづいて評価する）				
	第14回：	6～8名が発表・質疑応答（教員全員で評価シートにもとづいて評価する）				
	第15回：	まとめとゼミナール II の説明				
受講条件・関連科目	ゼミナール II					
授業方法	学生参加型					
テキスト・参考書	必要に応じて紹介する。					
成績評価	毎回の質疑応答、発表については論理の展開、自分の言葉で説明しているか、スライドは見やすいかなどの観点から評価する。					
履修上の注意						